

# 中・小規模システム市場向け 三菱デジタルサイネージシステム 『M-Signage』 のご紹介

三菱電機株式会社 京都製作所  
上野 弘

三菱電機株式会社

# 目次

---

1. 三菱電機京都製作所のデジタルサイネージへの取り組み
2. 中・小規模システム市場向けデジタルサイネージ
3. ネットワーク対応統合配信システム『M-Signage』
4. 納入事例
5. 今後の展望

# 1. 三菱電機京都製作所のデジタルサイネージ への取り組み

## 2. 中・小規模システム市場向け デジタルサイネージ

## 中・小規模システム市場の可能性



エレベータ脇案内

商業施設フロア案内



店頭販促

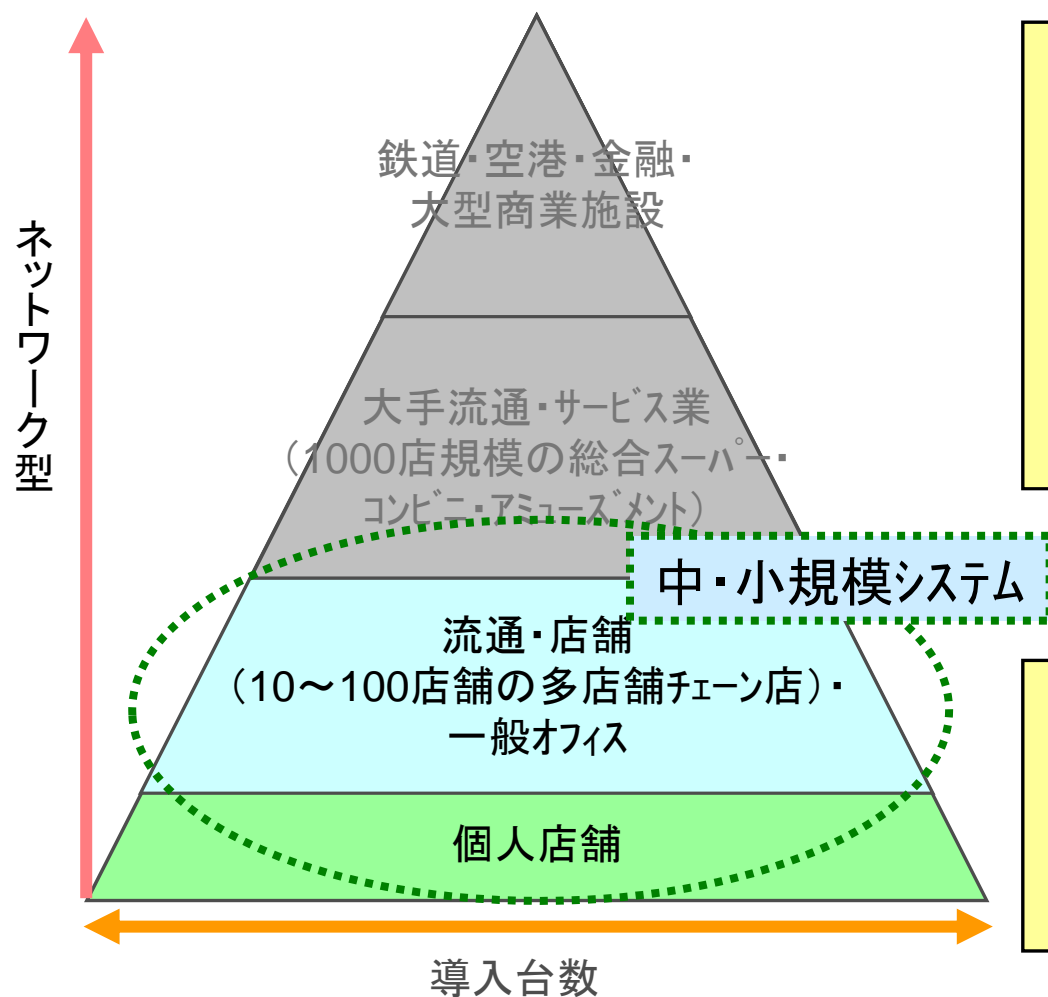


メニュー案内

病院待ち合い

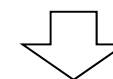


## 中・小規模システム市場の現状



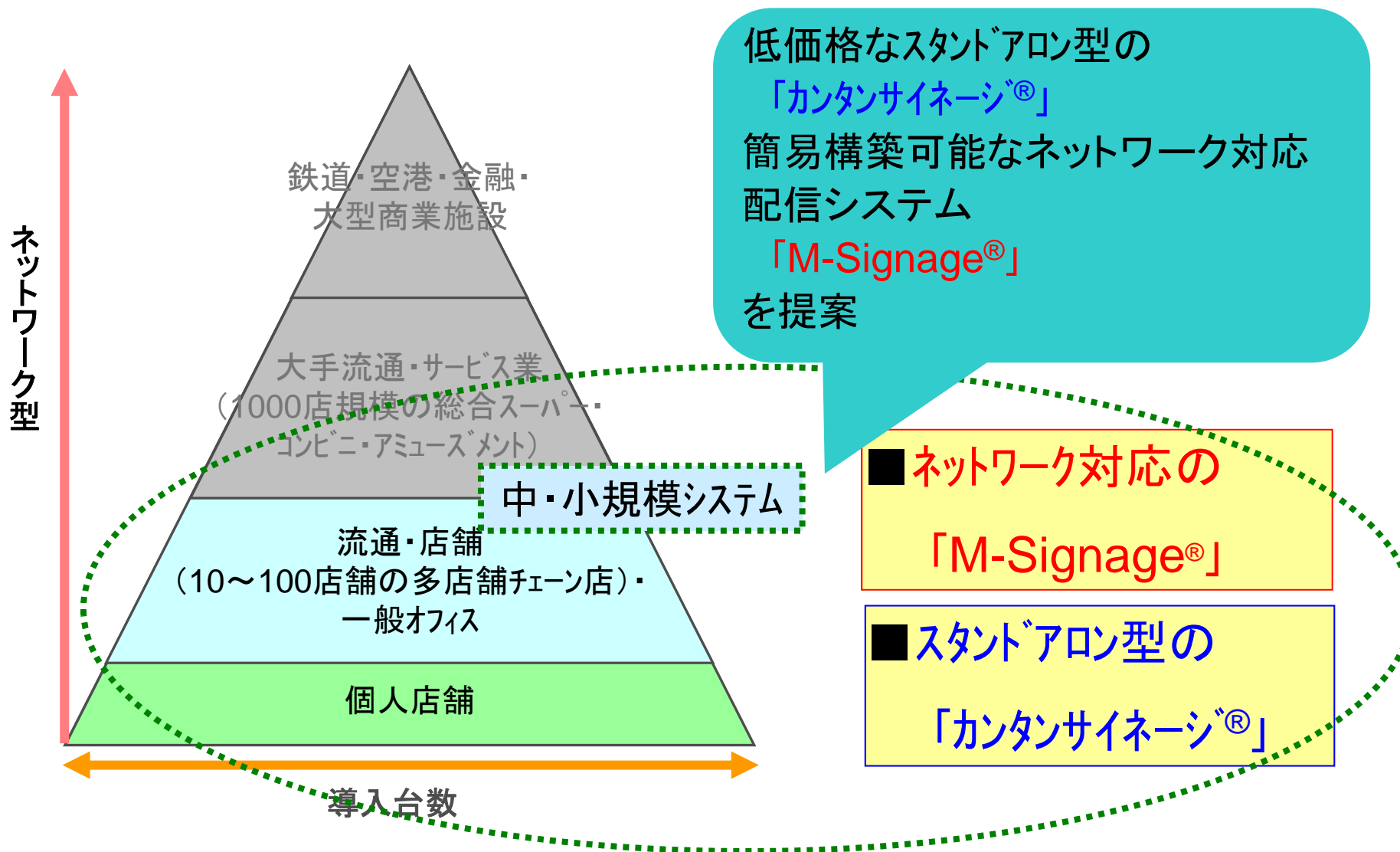
### 【課題】

- ・サイネージを導入したいが、ネットワーク構築/運営コストが高い
- ・日常運営管理が難しい、面倒 (コンテンツ更新/スケジュール登録)
- ・コンテンツの制作が難しい



手軽に導入できる  
製品が少なく、  
導入が進まない

## 中・小規模システム市場向けサイネージ戦略



## 3. ネットワーク対応 統合配信システム「M-Signage」

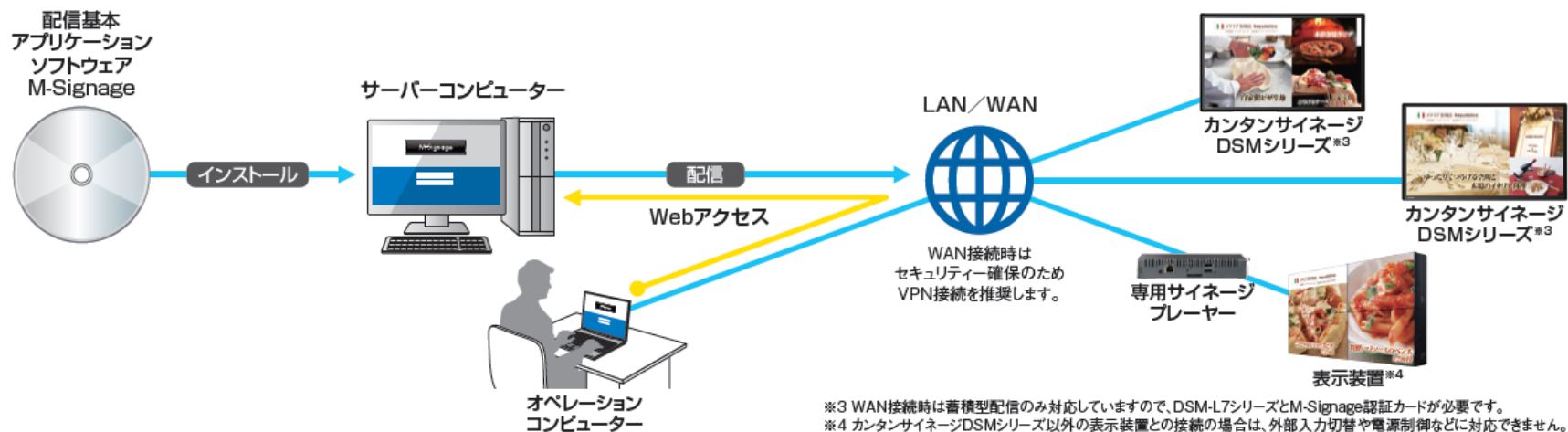


# M-Signage特長1

## コンテンツのレイアウトから配信・表示をトータルサポート

- M-SignageをインストールしたサーバーPCで作成したコンテンツをネットワーク経由で離れた場所に設置された様々な表示端末への配信が可能
- Webブラウザを利用してサーバーPCへアクセスが可能
- 安価な少数構成からスタートし、最大100台接続までの拡張が可能
- カンタンサイネージDSMシリーズをそのまま利用し、カンタンサイネージ(スタンドアロン)からM-Signage(ネットワーク)へステップアップが容易

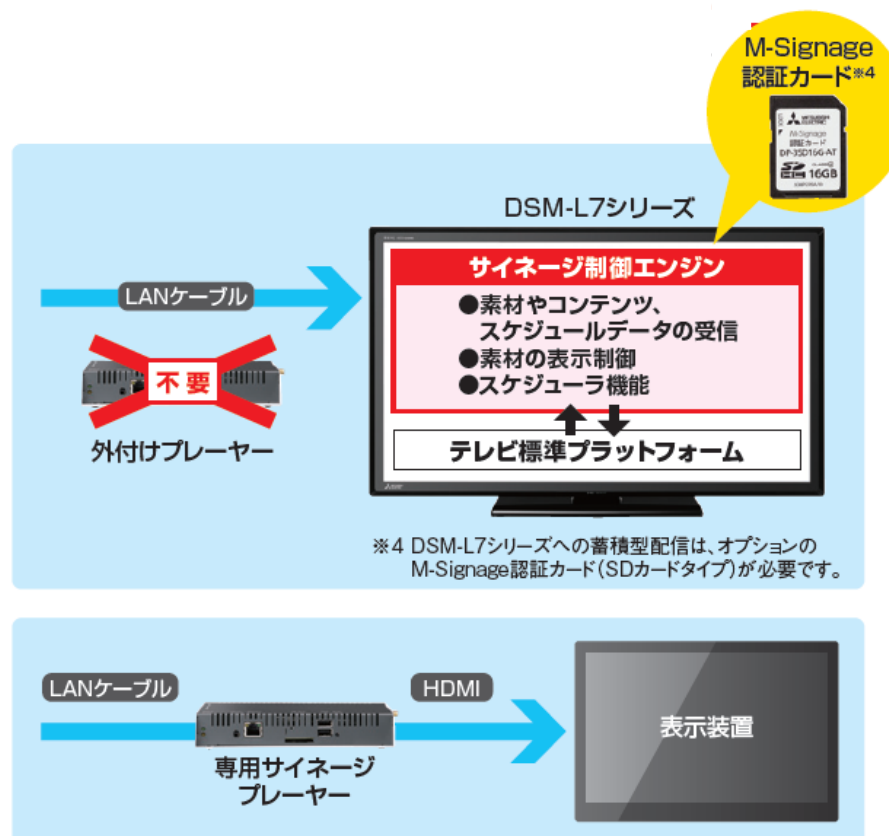
※1 配信基本アプリケーションソフトウェアM-Signageには<通常版Ver2.2>と<付属版Ver1.0>があります。 ※2 最大100台接続はM-Signageソフトウェア<通常版Ver2.2>にて対応。



## M-Signage特長2

### 外付けプレーヤー不要の配信を実現 運用に応じた配信形態に対応

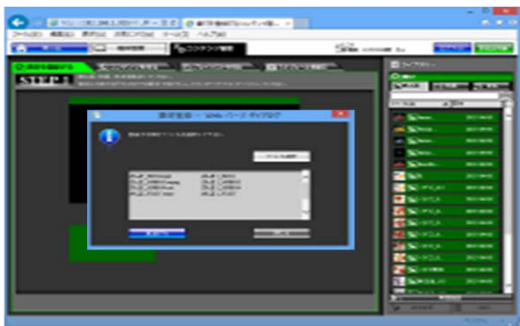
- 端末はカンタンサイネージDSMシリーズと専用サイネージプレーヤから選択が可能
- 異なるタイプの端末を一台の配信サーバーで制御可能
- カンタンサイネージDSMシリーズは専用サイネージプレーヤ不要



## 優れたGUIと多彩な機能

- ドラッグ&ドロップで、コンテンツの登録からスケジュールの設定、配信まで操作可能
- システム初期設定や状態監視の確認までマウスで操作する事が可能
- 素材登録、コンテンツ作成、プレイリスト作成、プレビュー、スケジュールリング、割り込み配信、端末の死活管理、グループ配信、割り込み配信、入力切替え、チューナ切替機能など、多彩な機能を有する

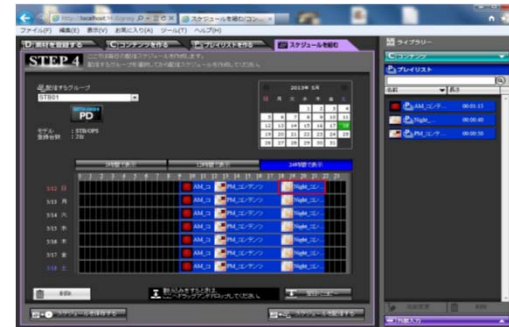
素材登録画面



コンテンツ作成画面



スケジュール設定画面



## 大規模システム用途機能

- DSM-L7シリーズへの割り込み配信機能(Websocketにより実現)
- 編集画面の使い勝手向上  
(縦コンテンツ編集、動画ファイルのコンテンツ設定方法、  
スケジュールコピー機能 等)
- サーバー多段化による100台を超える端末への配信

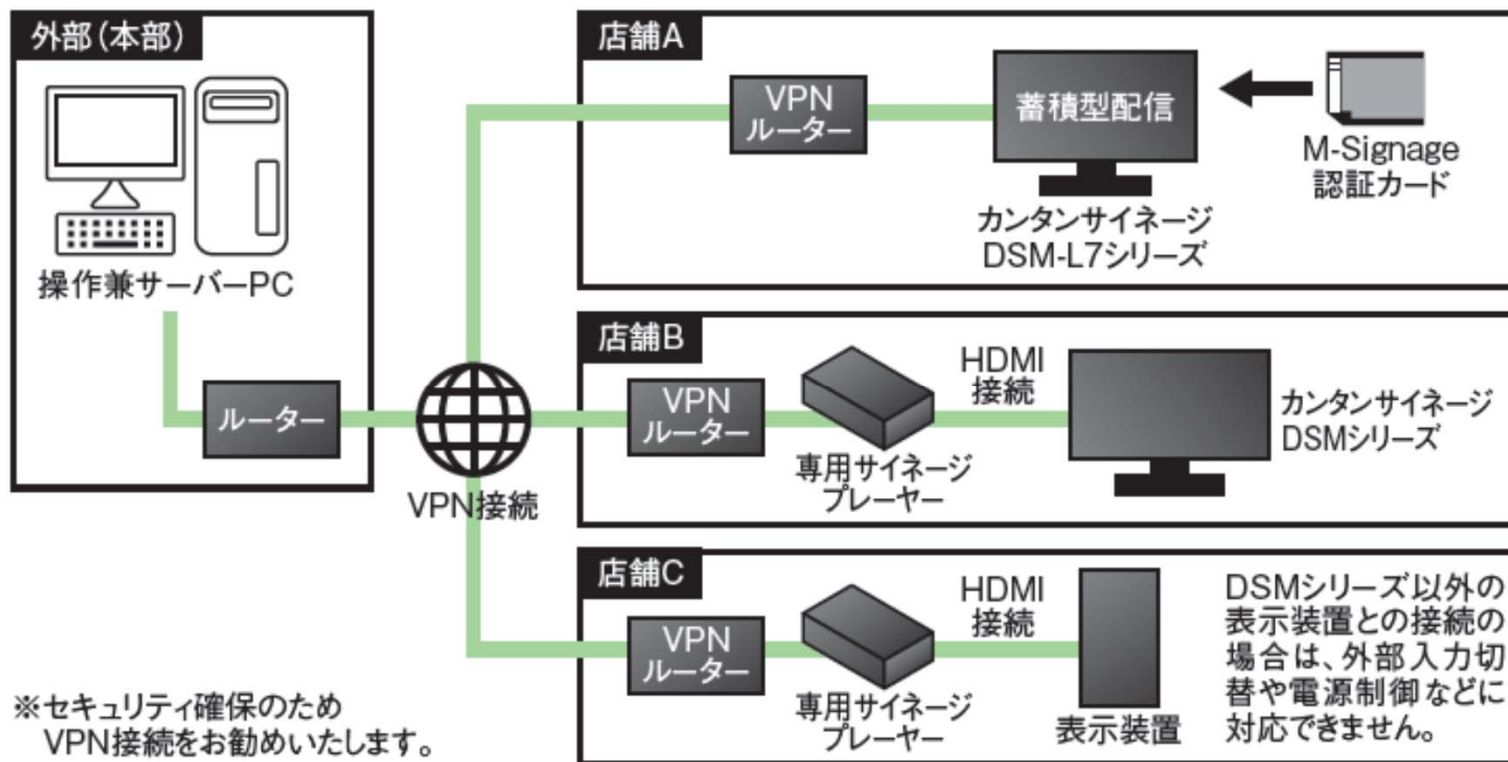


## ■ 外部webサーバー連携機能



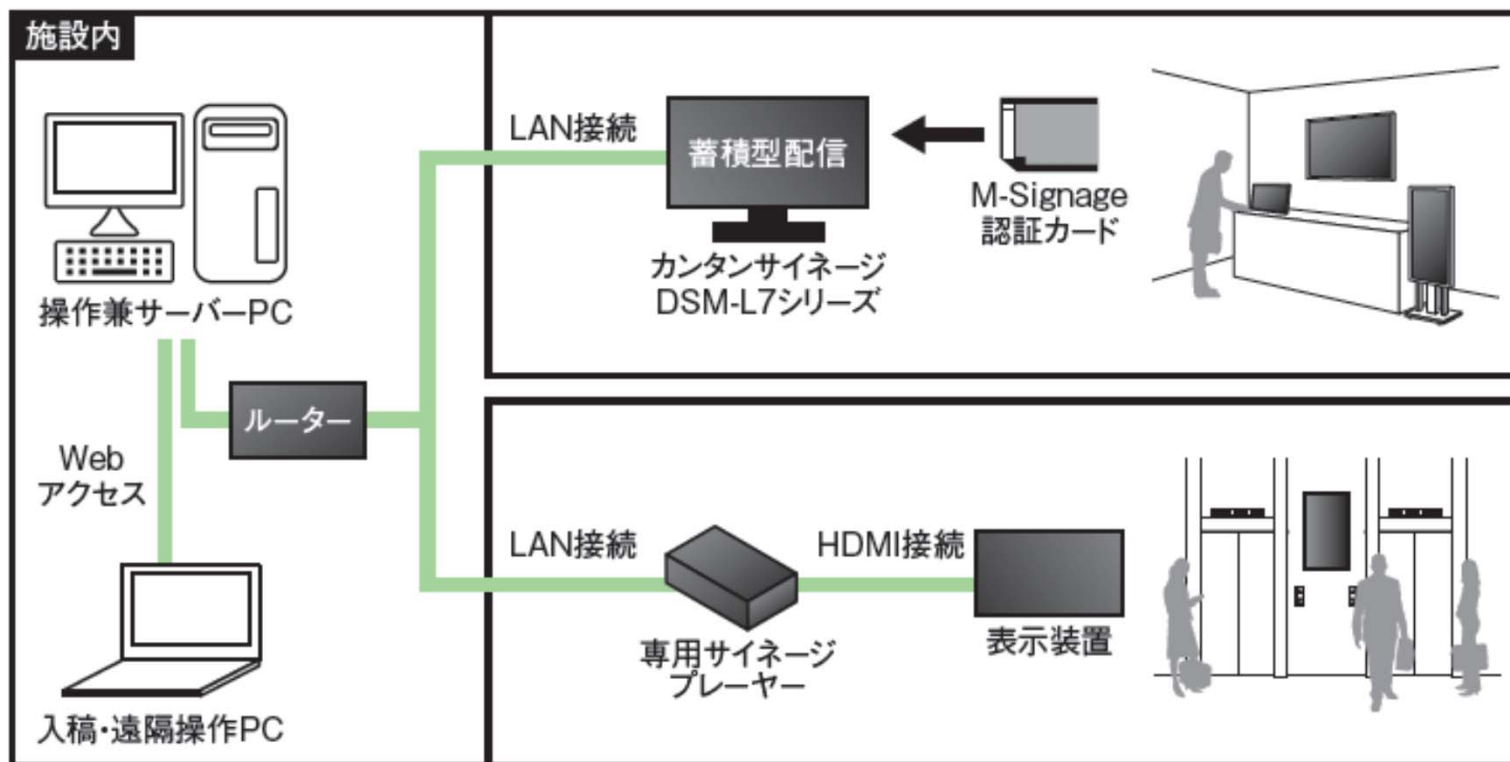
# M-Signage基本システム構成1

## 構成イメージ例 外部より3拠点へ広域配信



## M-Signage基本システム構成2

### 構成イメージ例 ローカルエリア配信





# コンテンツ作成から配信までの流れ

## Step 1 素材を登録

素材となる動画や静止画、音楽ファイルなど、さまざまなフォーマットに対応<sup>※1</sup>。  
使いたいファイルをコンテンツの編集前に登録します。  
※1 再生できるフォーマットは端末機器で異なります。詳細は、端末装置別 素材比較表を参照ください。

■コンテンツ作成画面



■端末装置別 素材比較表

素材	素材登録可能なフォーマット	素材登録可能な拡張子	スペック	サイネージプレーヤー	番機型 DSMシリーズ
静止画ファイル	JPEG PNG	jpg jpeg png <sup>※2</sup>	最大解像度：1920 × 1080	○ <sup>※5</sup>	○
動画ファイル	WMV9 H.264/ MPEG-4AVC	wmv <sup>※3</sup> mp4	最大解像度：1920 × 1080 最大フレームレート：30p(プログレッシブ) 最大ビットレート：10Mbps 最大ファイルサイズ：200 MB	○ <sup>※5</sup>	○ <sup>※6</sup>
	MPEG-2(PS) MPEG-4	mpeg mpeg avi	最大解像度：1920 × 1080 フレームレート：30p(プログレッシブ) 最大ビットレート：10 Mbps 最大ファイルサイズ：200 MB	○	×
	AVCHD	mts m2ts m2t	1920 × 1080 60i( インターレース) 1920 × 1080 24p(プログレッシブ) 1280 × 720 60p(プログレッシブ) 最大ビットレート：15 Mbps 最大ファイルサイズ：200 MB	×	○
音楽 (または、音声)	MP-3 WMA AAC-LC	mp3 wma <sup>※4</sup> aac	最大ビット深度：16bit 最大サンプリング周波数：48kHz 最大ビットレート：256kbps	○	×

※2 8ビットカラー未満の場合は画像が崩れる場合があります。  
※3 Windows Media® Video 9(FourCC:WMV3) / Windows Media® Audio 9.2フォーマットに対応しています。  
※4 Windows Media® Audio 9 Voice フォーマットには対応していません。  
※5 表示負荷を抑えるため、素材により画像変換をおこないます。 ※6 DSM-L6シリーズは対応していません。

## Step 2 配信用コンテンツを作成

登録した素材をもとに、動画、静止画等のエリアのレイアウト<sup>※1</sup>を決めてコンテンツを作成。操作はドラッグ&ドロップの簡単なマウス操作で行えます。レイアウトのタテ・ヨコ向き、大きさ変更はもちろん、静止画のスライドショー設定や動画の繰り返し設定、さらにコンテンツをつなぎ合わせてプレイリスト作成も可能です。

※1 レイアウトについては端末機器で異なります。詳細は端末機器別レイアウト機能比較表を参照ください。  
※2 DSM-L6シリーズは縦レイアウト時テロップ表示できません。



横レイアウト



縦レイアウト<sup>※2</sup>

■端末機器別 レイアウト機能比較表

機能		サイネージプレーヤー	番機型 DSMシリーズ
コンテンツ再生	静止画 <sup>※3</sup>	○	○
	動画 <sup>※3</sup>	○	○
	音楽 <sup>※3</sup>	○	×
	テキスト	○	○
	テロップ(テキスト)	○	○
	テロップ(RSS)	○	×
	HTML <sup>※3</sup>	○	×
1画面レイヤー数(最大)		4/1/1/1	2/1/1/1
静止画+テキスト/背景/動画/テロップ			
プレイリスト再生		○	○
USBメモリ配信		○	×
割り込み再生		○	○ <sup>※4</sup>

※3 すべてのコンテンツを保証するものではありません。 ※4 DSM-L6シリーズは対応していません。

## Step 3 スケジュール作成

作成したコンテンツやプレイリストなどの再生スケジュールを、ドラッグ&ドロップのマウス操作で簡単に組むことができます。詳細な時間設定も可能です。また、ビデオ端子などの他の外部入力などの切替えもスケジュール設定することが可能です<sup>※1</sup>。 ※1 表示装置がDSMシリーズに限ります。

■スケジュール作成画面



## Step 4 配信

再生スケジュールの設定を端末機器に配信します。最大100台<sup>※1</sup>の端末装置に配信できます。またグループごとの配信やグループをまたがった割り込み配信も可能です。

※1 最大100台接続はM-Signageソフトウェア<通常版Ver2.2>にて対応。M-Signageソフトウェア<付属版Ver1.0>は最大20台までになります。また、接続台数については設置、環境条件により異なります。

## 4. 納入事例



## 5. 今度の展開

ご清聴ありがとうございました